



カイル・ダナヒュー  
Kyle Donahue

See you again,  
Friends!

国際交流員のカイルダナヒューさんが7月をもって  
任期を終え、帰国します。  
鶴田町を離れるカイルさんから、お別れのメッセー  
ジが届きました。

私はいろんな国に住んだことがありますが、故郷はずっとフッドリバーでした。しかし、鶴田町に来て、故郷が2つになりました。鶴田に着いた時から毎日が楽しくて、鶴田から離れたくないと感じました。

昨年鶴田町に来た日は、私の誕生日でした。そこでとても素敵で親切な役場の皆さんと町民の方々に会えて、最高の誕生日プレゼントになりました。最初に来た時はひげもなく、髪の毛も短く、日本の文化も全然知りませんでした。私は日本語がまったく話せませんでした。皆さんがとても優しくしてくれたおかげで、自分の故郷にいるような感じでした。今ではひげも長くなり、レストランでビールやお好み焼きを頼めるようになり、子供たちとラッスンゴレライの歌も歌えます。

この1年間で楽しい思い出がたくさんできました。岩木山に登ったり、食べたことのない食べ物に挑戦したり、鱒ヶ沢でスキーをしたり、さまざまなお祭りを見に行ったりと楽しいことをたくさん経験できました。残りの1か月で鶴田町をいっぱい満喫したいと思います。立佞武多祭りにも参加するのでぜひ皆さんも遊びに来て下さい。

鶴田にいるすべての友人へ、たくさんの特別なひとときを作ってくれてありがとうございます。鶴田で過ごした1年間は一生忘れません。これはお別れではありません。ずっと永遠に私の友だちでいてください。帰国してもまた鶴田町に遊びに来たいと思っています。皆さんとまた会える日を楽しみにしています。へばな～！

## 外国青年が津軽弁でユーモア溢れる演技を披露

6月20日(土)、町国際交流会館で「外国青年による津軽弁大会」が開かれました。

平成9年に始まった大会は、県内の外国青年の皆さんに津軽弁をとおして津軽の文化や習慣を知ってもらい、地域の国際交流推進につなげようといわれ、今回で19回目。

大会では、黒石市やつがる市、五戸町などの国際交流員や外国語指導助手9人が津軽弁を交えた寸劇や歌を披露。また、アトラクションでは、ズンバダンスやピアノ、バンジョーの演奏が行われ、外国青年たちのユーモア溢れる演技と発表に、約200人の観衆からはたくさんの拍手が送られ、会場はにぎやかな雰囲気になりました。

大賞は、流暢な津軽弁の語りと津軽三味線の演奏を披露した黒石市のイアン・ハミルトンさん、クリスティーナ・ハミルトンさんによる『Coming to 津軽』が受賞。そのほか、アニメ「ドラえもん」をモチーフにした寸劇「ドラえもん のび太の鶴田大冒険!!」や、橋幸夫さんの名曲「絆」を津軽弁で披露した外国青年らが賞に選ばれました。



①「ドラえもん のび太の鶴田大冒険!!」②橋幸夫さんの「絆」を津軽弁で歌うミナ・キムさん③津軽三味線で「じょんがら節」を披露するイアン・ハミルトンさん④ピアノ演奏⑤ズンバダンス⑥司会を務めた青森朝日放送の落合アナウンサー⑦バンジョー演奏⑧大会に参加した外国青年の皆さん